記者発表資料

平成２５年６月１９日
湯沢河川国道事務所

「河川水辺の国勢調査」夏季調査を実施
～河川内の自然環境の変化を定期的、継続的、統一的に調査～

５月１４日～１６日に行った春季調査に引き続き、下記日程で夏季調査を行いますので、お知らせします。
春季調査は目視調査（昼間）のみでしたが、夏季調査はトラップを仕掛けたり、夜間調査も行うなど、調査方法を追加して行います。
※関連は、5月10日及び5月23日に記者発表済み

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所では、雄物川上流部および玉川など６支川、総延長 115.9km を管理しています。

■調査時期及び調査方法（別紙参照）

《調査日》
６月２４日（月）～２９日（土）に実施予定
《調査時間》
昼間の調査：　８時から１６時（予定）
夜間の調査：１９時から２０時半（予定）

■調査地点（位置図参照）
○定点調査地点
雄物川本川　３地点
支川（玉川、皆瀬川、成瀬川）各１地点
○補足調査地点
雄物川本川　２地点（大曲橋、岩館橋上流）
支川　１地点（岩崎橋下流）

■調査体制
３人

※今後の調査（秋季以降）についても調査前にお知らせ致します。
※気象状況等によっては、調査を延期することがあります。

当事務所ＨＰ URL（http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/）

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局

《問い合わせ先》
国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話０１８３－７３－５５４４
技術副所長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）（内線２０４）
調査第一課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３５１）

《参考》

■調査の目的、概要
　河川事業や河川管理の基礎資料とするため、瀬や淵の状況等を調査する「河川調査」と河川内の魚介類、植物、鳥類等の生息・生育状況等を調査する「生物調査」を、平成２年から「河川水辺の国勢調査」として、定期的、継続的、統一的に行っています。
　今年度は、前回調査から９年ぶり４回目となる両生類・爬虫類・哺乳類調査を実施するものです。

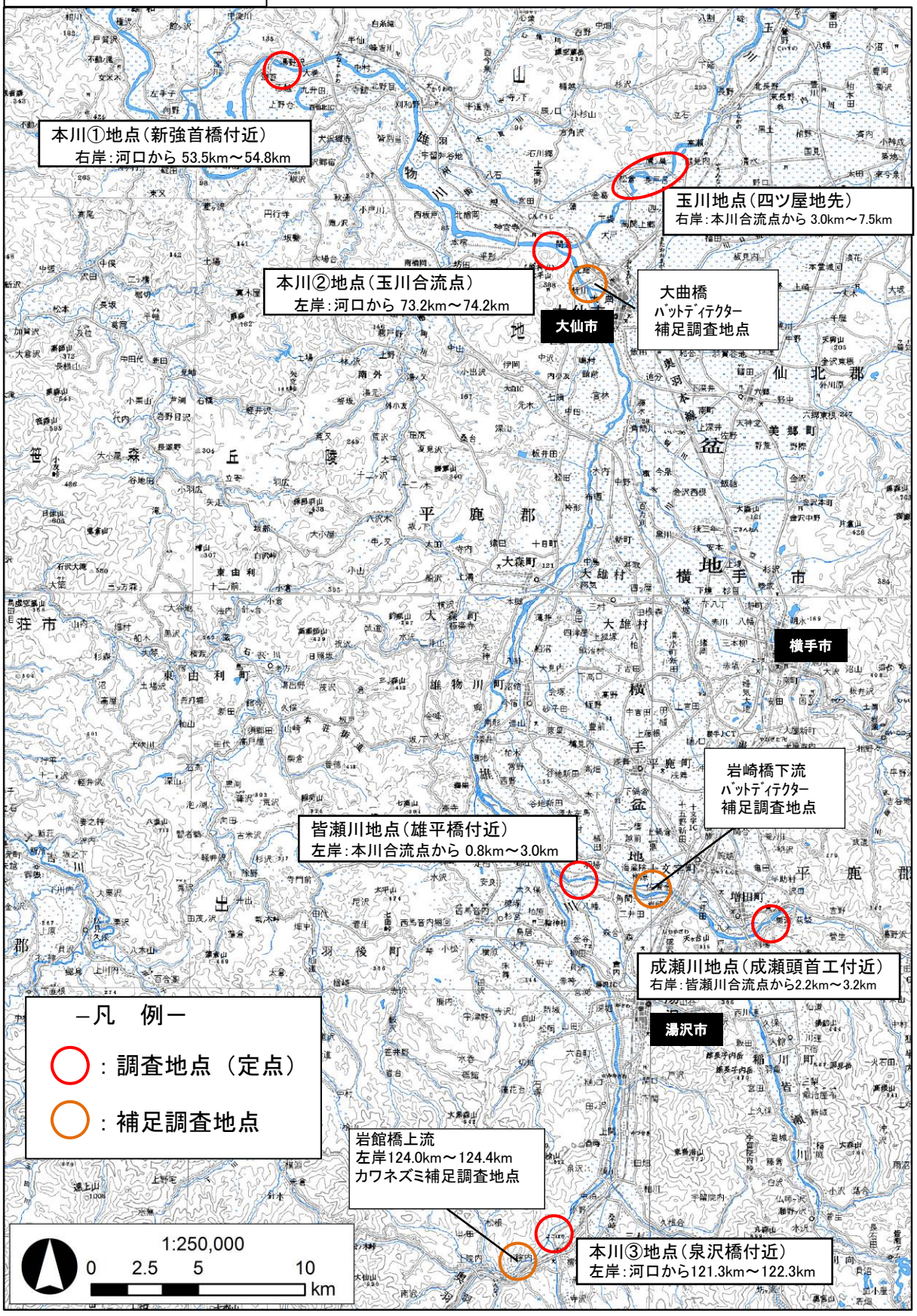
■調査時期及び調査方法（別紙参照）
　春季・夏季・秋季・冬季の４回調査します。

　《春季調査》
　　５月１４日～１６日に実施済み

■調査地点（位置図参照）
　雄物川本川　３地点
　　支川（玉川、皆瀬川、成瀬川）各１地点

■調査に対するアドバイス
　本調査にあたっては、小笠原暠秋田大学名誉教授にアドバイス頂いております。

■調査位置図


本川①地点（新強首橋付近）
右岸：河口から 53.5km～54.8km
玉川地点（四ツ屋地先）
右岸：本川合流点から 3.0km～7.5km
本川②地点（玉川合流点）
左岸：河口から 73.2km～74.2km
大曲橋
ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ
補足調査地点
大仙市
横手市
岩崎橋下流
ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ
補足調査地点
皆瀬川地点（雄平橋付近）
左岸：本川合流点から 0.8km～3.0km
成瀬川地点（成瀬頭首工付近）
右岸：皆瀬川合流点から2.2km～3.2km
湯沢市
－凡　例－
：調査地点（定点）
：補足調査地点
岩館橋上流
左岸124.0km～124.4km
カワネズミ補足調査地点
本川③地点（泉沢橋付近）
左岸：河口から121.3km～122.3km
1:250,000
0 2.5 5 10
km

■調査方針

調査方針	・6月下旬はモリアオガエルの産卵期にあたり、卵のうの確認が期待されます。 ・哺乳類の捕獲調査（シャーマン型トラップ、墜落缶、カゴワナ）を実施することにより、モグラ類、ネズミ類といった小型哺乳類を捕獲確認します。 ・夜間にバットディテクターによる調査を実施し、コウモリ類の出現状況を把握します。 ・無人撮影装置を設置し、主として中型以上の哺乳類の確認をします。

「モリアオガエルの卵のう」の例



■調査日程

調査種類	日程					
	6/24（月）	6/25（火）	6/26（水）	6/27（木）	6/28（金）	6/29（土）
目視調査	本川①地点	本川②地点	玉川地点	皆瀬川地点	成瀬川地点	本川③地点
トラップ調査等	【トラップ設置】 本川①地点 本川②地点 玉川地点	【トラップ確認】 本川①地点 本川②地点 玉川地点	【トラップ撤去】 本川①地点 本川②地点 玉川地点	【トラップ設置】 皆瀬川地点 成瀬川地点 本川③地点 岩館橋上流	【トラップ確認】 皆瀬川地点 成瀬川地点 本川③地点 岩館橋上流	【トラップ撤去】 皆瀬川地点 成瀬川地点 本川③地点 岩館橋上流
	【ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ調査】 本川①地点 玉川地点	【ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ調査】 本川②地点 大曲橋	【ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ調査】 皆瀬川地点	【ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ調査】 成瀬川地点 岩崎橋下流	【ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ調査】 本川③地点	

＊調査時間は8：00～16：00（任意調査及びトラップ調査）、19：00～20：30（バットディテクター調査）を基本としています。

＊「目視調査」とは、調査範囲において両生類・爬虫類・哺乳類の確認が期待される場所を任意に踏査し、目視観察調査するものです。

■調査手法（トラップ等の種類）

シャーマン型トラップ



アルミ製の生け捕り罠（シャーマン型トラップ）に、ピーナッツなどの誘引用の餌を入れて、設置します。

無人撮影法



夜行性の哺乳類の確認のために、無人撮影装置を、哺乳類が頻繁に往来するような「けもの道」に設置します。

墜落缶



プラスチックカップやバケツ等を利用。地中に埋め、落下したネズミ・モグラ類を捕獲する生け捕りワナ。



（イメージ図）

バットディテクター



バットディテクターとは、コウモリの出す超音波を人間の耳でも聞こえるようにする装置の事で、左の画像は装置を手にして、調査している様子です。